

(6) 2016年(平成28年) 1月21日(木曜日)

新年おめでとうございませす。皆さんは、新年をどのようにお過ごしですか。新しい年を迎えると、新鮮な思いが与えられ、新しい夢と目標をもって生きようという気持ちになるものですが、皆さんはいかがですか？ 私もさつそく新しい目標を掲げました。

夢を持ち続け、そのための新しい習慣を続ければ、その習慣がもたらす結果(夢の実現)を自分のものにする事ができます。今は、いろんな意味で難しい時代ですが、こういう困難な時代にあっても、夢を持ち続ける人はピンチをチャンスに変え、新しい道を切り開いていきます。

夢の実現にはいろんな要素があります。ひとつの大事な要素は「明確」な目標を持つことです。目標のない人生は成り行きの人生で、いつまでも堂々巡りで前進がありません。「明確」な目標があつてこそ、その目標に向かって前進することができ、前進を続ければ必ず夢に近づくので

でした。そこで、以前からいる修道士たちが院長に尋ねました。「院長、多くの人たちが修道士になろうとして入つて来ましたが、大部分の人たちが途中で出て行きました。

中の一匹がウサギを見つけたら、吠えながらそのウサギを追っていきます。すると、ほかの猟犬たちも一斉に吠えながら、その後を追っていきます。しかし途中で、大部分の猟犬たちは主人のほうを振り返りながら、その場に立ち止まります。ところが、最初に飛び出していった猟犬は最後までウサギを追いかけて行き、それを捕まえて帰ってきます。それは一体なぜだと思

南加キリスト教教会連合

夢の実現

鶴田健次

す。

中世の時代の、ある修道院での出来事です。多くの志願者が修道士になりたいと修道院に入って来ました。ところが、しばらくすると落伍者が続出し、残ったのはわずか

これは一体どうしてでしょう？」  
すると、彼らを静かに見つめていた院長が言いました。「こんな話があります。猟師が猟をするとき、多くの猟犬を連れて猟をします。その

それは最初の猟犬には、ウサギという明確な目標がありましたが、他の猟犬たちは、最初の猟犬につられて飛び出しただけで、はつきりした目標がなかったからです。同様に、多くの人たちが修道院に入つて来ますが、確実に一生を修道士として生きるという

目標もなく入つて来たので、途中で辛いことがあると落伍するのです。しかし、確かな目標を立てて入つて来た人は、最後まで努力し、ついには立派な修道士になれるのです」

多くの人がいろんな夢を持って生きています。しかし、それが漠然とした夢で、はつきりした目標でなければ、人は困難に出くわした時、夢の追求を諦めてしま

ます。それに対し、「明確」な目標があれば、どんな困難に出会つても、人は目標に向かって前進を続け、やがて夢の実現を果たすことができるのです。どうか皆さんが、この新年に、夢の実現を目指して前進されますように。

(ラスベガス日本人教会牧師)